

## 2015年度 FD 報告書2

**プロジェクト名:**英語Bプレゼンテーション技能カリキュラム

**関係教員:**ヒンクルマン・D、佐藤ケイト、コッター・M、コホ・J、宮町 誠一

**目的:**大学のゼミ発表や将来就職した際など、多くの場面でスピーチの技能が必要となってくる。プレゼンテーション内容をまとめ、それを発表する技能はコミュニケーションにおいて重要であり、英語科目だけではなく日本語で行われる授業にも有益である。また、学生のプレゼンテーションを録画し保存することによって、学生自身による復習、並びに改善を可能にすることが出来る。これを実現するため、我々は既にムードル学習管理システムに適した特別な e-learning モジュールを製作しており、同モジュールはベスト・ムードル・イノベーション賞を受賞している。

本プロジェクトにて関係教員チーム一同は、プレゼンテーション技能に関する講義を2年生を対象としたものを17、並びに1年生を対象としたものを23、担当致しました。加え、後期セメスターには、全学科の2年生参加によるプレゼンテーションコンテストを開催致しました。167名の学生がコンテストに参加し、その中の32名が2015年11、12月にかけてEnglish Lounge(12:30-13:00)にて行われた決勝で発表致しました。1年生に関してですが、この助成金によりコミュニケーションノートがの作成が実現でき、それを使って学このコミュニケーションノートは、学生の自然発生的に思いつく趣味趣向などの事柄を写真を添えて表現出来るので、学生にとって大変便利なものとなっています。それぞれの教員は、ハサミやマーカーなどの道具を使用することが出来ました。さらに、Moodleを使用することにより全てのプレゼンテーションのデータの管理が可能になりました。477名もの英語ⅡBに登録した学生の内、287名がこれにより評価されました。2年生に関しましては、この助成金によりプレゼンテーションコンテストのためのトロフィー14個と賞状45枚を作製出来ました。コンテストは学科ごとに行われたため、英語英米文学科の学生が支配することはありませんでした。つまり学生は仲間と競い合ったということになります。今回は、法律学部の学生内で英語Ⅲ、ⅣBを受講した者はありませんでした。補足としまして、非英語専任の教員の方々にも審査員として参加して頂きました。それぞれの学科ごとの報告書もあわせて添付いたします。